

# 学童保育関係の2009年度政府予算(案)

総額234億円で47億円増、施設整備費は「安心こども基金」でも

2008年12月22日 全国学童保育連絡協議会

2008年12月20日、学童保育関係の来年度予算案が発表されました。学童保育については、「放課後子どもプラン」の着実な推進に加えて、「新待機児童ゼロ作戦」や「5つの安心プラン」をふまえたものになっています。

\* [別紙] の厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課発表の資料参照

## 放課後児童健全育成事業

●総額	234億5300万円	(前年比47億5900万円増)
●運営費補助	176億2200万円	(前年比14億9000万円増)
対象数	2万4153か所分	(前年比4153か所増)
●施設整備費	56億6800万円	(前年比33億400万円増)
対象数	創設費 394か所	(補助単価を2112万4000円に増額)
	改修費等 5268か所	(補助単価は前年と同額)

- ・2008年8月に発表された概算要求額と比べると、43億9700万円削られています。削られたのはほとんどが施設整備費です。削られた理由は、政府が第二次補正予算案で計上している「安心こども基金」(1000億円)を学童保育の設置促進にも使えるようにしているためです。  
(「安心こども基金」の詳しい内容はまだ明らかになっていません)
- ・運営費の補助対象か所数は、概算要求では2万3600か所でしたが、さらに553か所が上乘せされています。これも、「安心こども基金」により整備か所数が増えることを見込んだためです。運営費の補助単価は1月末頃に示されます。
- ・施設整備費の創設費(学童保育専用施設として整備)の補助単価は、前年度1250万円でしたが、862万4000円増額されています。改修費の700万円、備品費の100万円は変わりません。

## 文部科学省の「放課後子ども教室」事業は今年度比23億円減額

文部科学省の「放課後子ども教室」事業の2009年度の予算案は、54億6800万円(1万5000か所分)となりました。前年比約23億円減、概算要求額よりも約14億円少ない額となっています。

[別紙]

## 平成21年度児童健全育成対策関係予算(案)当初内示の概要

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

(平成20年度予算額) (平成21年度予算(案)当初内示)

291,410百万円 → 291,756百万円

### 1. 総合的な放課後児童対策(「放課後子どもプラン」)の着実な推進

23,453百万円

放課後児童クラブと文部科学省が実施する「放課後子ども教室推進事業」を一体的あるいは連携して実施する「放課後子どもプラン」の着実な推進を図る。

また、放課後児童クラブについては「新待機児童ゼロ作戦」や「5つの安心プラン」を踏まえ、ソフト面及びハード面での支援措置を図る。

(1) 放課後児童クラブ運営費(ソフト事業) 17,622百万円

○ 放課後児童健全育成事業費

・ か所数 20,000クラブ → 24,153クラブ

(+4,153クラブについては年度途中開所分)

(2) 放課後児童クラブ整備費等(ハード事業) 5,668百万円

○ 創設費補助の充実【児童厚生施設等整備費】

・ 学校の敷地内等に放課後児童クラブ室を新たに設置する際の創設か所数の増及び単価の増を図る。

か所数 300か所 → 394か所

単価 12,500千円 → 21,124千円

○ 改修費及び設備費補助の充実【放課後子ども環境整備等事業】

・ 大規模クラブの解消を図るための改修、既存施設(学校の余裕教室等)を改修して放課後児童クラブ室を設置する際の改修か所数の増を図る。

・ 既存施設(学校の余裕教室等)において新たに放課後児童クラブを実施する際の児童のロッカー等を購入する場合の費用(設備費)の補助を行う。

か所数 2,835か所 → 5,268か所

(参考) 平成20年度第2次補正予算案に計上の「安心こども基金(1,000億円)」に、放課後児童クラブの設置促進にかかる経費についても計上